

令和 4年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 道路環境課
 担当名: 防災
 内線: 5107

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B9	道路構造物維持事業費			一般会計	土木費	道路橋りょう	道路維持費	道路構造物維持事業費	
事業期間	令和 3年度～	根拠法令	道路法			針路	01 災害・危機に強い埼玉の構築	SDGsゴール	11, 13
						分野施策	0102 大地震に備えたまちづくり	SDGsターゲット	11-2, 11-7, 13-1
1 事業概要 道路法で義務付けられた構造物の修繕、電線類の地中化による安全な歩行空間の確保などの適切な道路の維持に資する業務を実施する。 構造物修繕事業 20,000千円 電線地中化事業 20,000千円 通学路安全対策事業 40,000千円				5 事業説明 (1) 事業内容 ア 構造物修繕事業: 道路交通の安全・安心を確保するため、老朽化している道路附属物の修繕を実施し、適切な維持管理を行う。 国補正への公共事業対応による増額補正 20,000千円 イ 電線地中化事業: 防災性の向上や良好な景観形成、歩行者の安全な通行を図るため、電線類等の地中化を行う。 国補正への公共事業対応による増額補正 20,000千円 ウ 通学路安全対策事業: 通学路安全総点検の結果を踏まえ、防護柵の設置など安全対策を実施する。 国補正への公共事業対応による増額補正 40,000千円 (2) 事業計画 ア 構造物修繕事業: 一般国道140号(秩父市) イ 電線地中化事業: 主要地方道川越所沢線(所沢市)外3箇所 ウ 通学路安全対策事業: 一般県道蓮田鴻巣線(桶川市)外2箇所 (3) 事業効果 ア 老朽化している道路附属物の修繕により、道路交通の安全・安心を確保する。 イ 電線類の地中化により、電柱倒壊による道路閉塞を防止できる。 さらに、安全な歩行空間や良好な景観が確保できる。 ウ 防護柵設置などの安全対策を通学路に実施することにより、子どもの安全を確保する。					
2 事業主体及び負担区分 道路メンテナンス事業費補助 無電柱化推進事業費補助 道路交通安全施設等整備事業費補助 (国5.5/10・県4.5/10)									
3 地方財政措置の状況 補正予算債 充当率100% 交付税措置 50%									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×0.3人=2,850千円									
予算額		財 源 内 訳						一般財源	補正後の 予算額
		国庫支出金	県 債						
決定額	80,000	44,000	36,000					0	586,000
現計額	506,000	278,300	4,000					223,700	

事業内訳書

事業名	道路構造物維持事業費		
単位事業名	電線地中化事業	予算額	20,000千円

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
負担金、補助及び交付金	5,000	—	所沢市への負担金
補償、補填及び賠償金	15,000	—	電線地中化に伴う支障物件移設補償費
合計	20,000	—	

単位事業名	構造物修繕事業	予算額	20,000千円
-------	---------	-----	----------

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
工事請負費	20,000	—	一般国道140号(秩父市)
合計	20,000	—	

単位事業名	通学路安全対策事業	予算額	40,000千円
-------	-----------	-----	----------

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
工事請負費	40,000	—	県道蓮田鴻巣線(桶川市)外2箇所
合計	40,000	—	